



第37回

特別展 「星をみつめるどうぶつたち」 始まります

博物館・プラネタリウム (☎355-2700 FAX355-2704)



4月20日(土)から6月2日(日)まで、特別展「星をみつめるどうぶつたち はしもとみおの世界展」を開催します。

いなべ市にアトリエを構える彫刻家はしもとみおさんは、15歳のとき、兵庫県尼崎市の自宅で阪神・淡路大震災に遭いました。その時、いつも周りにいた犬や猫たちが突然姿を消してしまった経験から、「生きていた命をずっと残しておきたい」と彫刻家の道を志しました。はしもとさんがクスノキから彫り出し、彩色

を施したどうぶつたちは、生き生きとした魅力にあふれています。

三重県内で初めての大規模な展覧会となる本展では、「宇宙」をテーマに、世界一のプラネタリウムを持つ四日市市立博物館ならではの展示を、最新作とともに楽しみいただけます。

また、展示会場内で、どうぶつたちと記念写真を撮ることもできます。撮影した写真をSNSなどにアップロードするときは、ぜひ「#(ハッシュタグ) 星をみつめるどうぶつたち

」「#はしもとみお」を付けてください。



はしもとみお「月のオーナメント」



◆咲き誇る梅の花 (3月5日 南部丘陵公園)

◆つるし雛とちりめんあそび展

(2月7日～3月6日 楠歴史民俗資料館)



3月3日に開催された梅まつりはあいにくの雨でしたが、撮影日は、鈴鹿山脈が見えるくらいの快晴でした。梅林に踏み入ると、梅の香りが漂っていて、小さな虫たちも春の訪れを喜んでいるようでした。



楠地区で活動する「きさらぎ会」が、ひな祭りの時期の縁起物であるつるし雛を出展するのは、今年で7回目だそうです。屋敷の古風な雰囲気と色鮮やかなちりめんあそびが映えて、すてきな空間でした。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労

随時加入者
募集中

四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金 (42万円)
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助 (3万3千円)
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。